

# 漁海況情報

第613号 (令和5年7月18日)

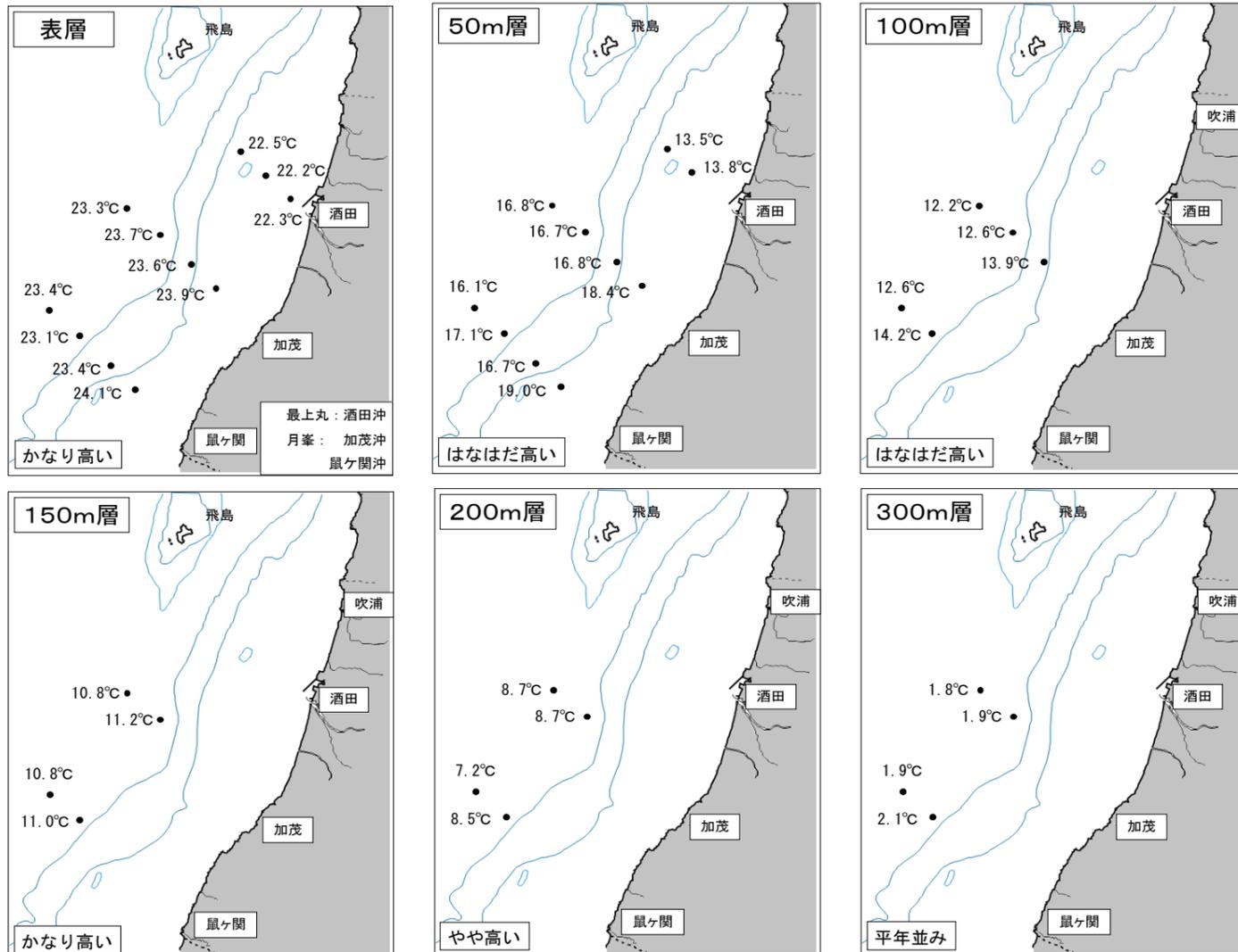
山形県水産研究所  
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
ホームページ: //www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/

- ・水産研究所「最上丸」と庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、それぞれ6月26日と7月14日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層と150m層は「かなり高い」、50m層から100m層は「はなはだ高い」、200m層は「やや高い」、300m層は「平年並み」でした。
- ・6月の地先水温は、鶴岡市加茂(水産研究所)は「やや高い」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)は「はなはだ高い」でした。
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構は、令和5年7月7日に「2023年度第2回日本海海況予報」を発表しました。
  - 対馬暖流域の表面水温は、「やや高め」で経過する。
  - 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部および北部ともに「やや高め」で経過する。

沿岸25海里定点各層別の平均水温(7月上旬観測値)

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	23.3	16.5	13.1	11.0	8.3	1.9
前年差	-1.0	+1.2	+0.4	-0.2	-1.3	-0.1
平年差	+1.7	+2.4	+1.7	+0.9	+0.8	-0.1
評価	かなり高い	はなはだ高い	はなはだ高い	かなり高い	やや高い	平年並み
(前月評価)	(やや高い)	(やや高い)	(やや高い)	(やや高い)	(平年並み)	(かなり低い)

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回、"やや"は約4年に1回、"かなり"は約10年に1回、"はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

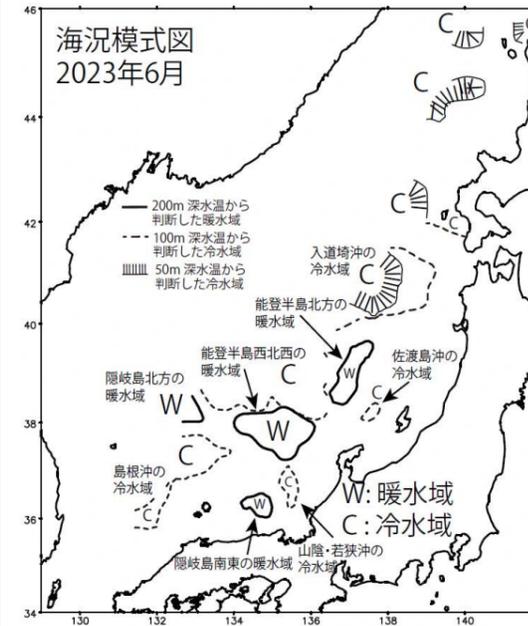


地先平均水温(6月)

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	20.9	+1.6	+1.1	やや高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	19.8	+1.1	+1.6	はなはだ高い

## 1. 2023年度第2回日本海海況予報 (国立研究開発法人水産研究・教育機構)

- 7月中旬～9月までの日本海海況予報は以下のとおりです。
- ・対馬暖流域の表面水温は、「やや高め」で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに「やや高め」で経過する。



**2023年7月中旬～9月の海況(北部日本海周辺)**

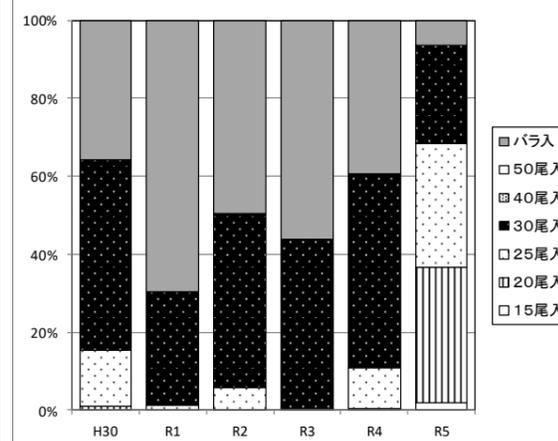
- 隠岐島北方の暖水域と隠岐島南東の暖水域は東進し消滅する。
- 能登半島西北西の暖水域は勢力を維持しながら定在する。
- 能登半島北方の暖水域は勢力を維持しながら定在する。
- 島根沖の冷水域張り出しは、やや小さくやや離岸で経過する。
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。
- 入道埼沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくはなはだ離岸で経過する。

※ "平年並み"は約2年に1回、"やや"は約3年に1回、"かなり"は約7年に1回の出現確率

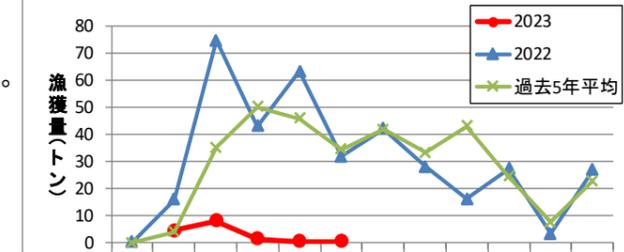
## 2. 沿岸スルメイカ漁(いか一本釣り)の状況

- 5～6月の本県の漁獲状況は以下のとおりです。
- ・出漁のべ隻数: 107隻 (前年比26%、平年比33%)
- ・漁獲量: 14.7トン (前年比6%、平年比9%)
- ・魚体サイズ: 20～30尾入が主体となっています。

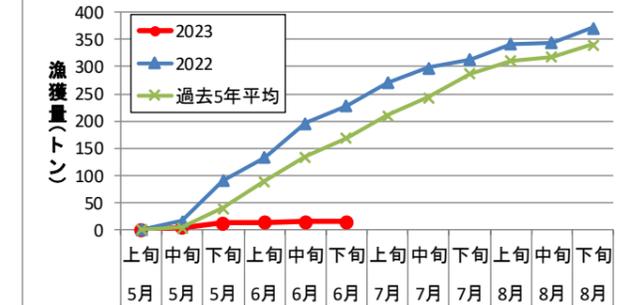
スルメイカ銘柄組成(箱数)の推移(山形県、5～6月計)



スルメイカ旬別漁獲量の推移(いか一本釣り、山形県)



スルメイカ累計漁獲量の推移(いか一本釣り、山形県)



# 6月の漁況

- 延べ操業隻数は1,602隻で前年比72%、総漁獲量は330トンで前年比58%でした。
- 底びき網漁業の漁獲量は146トンで前年を下回りました。タイ類、タコ類および紅エビ(ホッコクアカエビ)は前年を上回り、口細(マガレイ)、ムシガレイ、ヤナギムシガレイ、ハタハタ、ホッケ、ウマヅラハギおよびスルメイカは前年を下回りました。ヒラメ、アンコウおよびマダラは前年並みでした。マダラの幼魚である甘子の漁獲はありませんでした。
- 定置網漁業の漁獲量は62.8トンで前年並みでした。ブリ類は前年を上回り、ヒラメ、ウマヅラハギ、トビウオ、フグ類およびアジは前年を下回りました。サバは前年並みでした。
- 採貝藻漁業の漁獲量は16.7トンで前年を下回りました。サザエは前年を上回り、アワビ、ナマコおよびモズクは前年を下回りました。イワガキは前年並みでした。
- その他の漁業では、さし網漁業のヒラメおよびかご漁業の浅海性バイ類は前年を上回り、いか一本釣り漁業のスルメイカ、さし網漁業のキス、メバル類、ウマヅラハギ、ごち網漁業のタイ類、はえなわ漁業のタイ類および一本釣り漁業のメバル類は前年を下回りました。さし網漁業のサザエは前年並みでした。

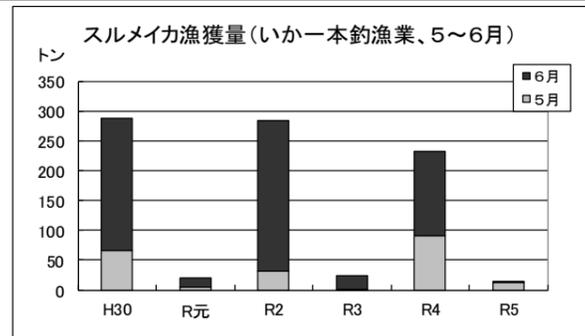
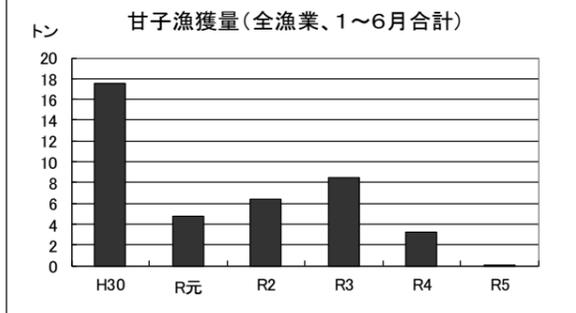
\* 前年比は平成30～令和4年までの平均値と比較した値です。  
 \* 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。  
 \* 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

## 全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠閣	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	137	226	312	83	228	143	94	379	1,602	110%	72%
総漁獲量	13,094	10,278	86,838	63,208	56,694	40,289	5,216	54,216	329,833	68%	58%
前年比	125%	145%	61%	132%	101%	113%	207%	29%	68%		
前年比	85%	75%	48%	96%	76%	106%	110%	31%	58%		

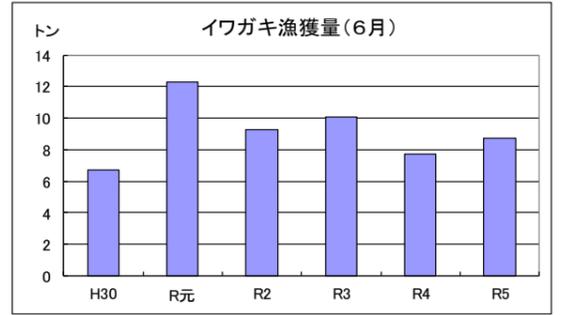
## 底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠閣	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	23	48	61	20	135	287	98%	83%
タイ類	316	13,493	1,780	410	2,548	18,547	226%	185%
ヒラメ	368	33	1,526	264	550	2,742	124%	103%
口細(マガレイ)	592	3	514	128	173	1,410	90%	23%
ムシガレイ	279	43	1,353	426	484	2,586	67%	53%
ヤナギムシガレイ	190	9	547	115	91	952	104%	49%
ハタハタ	42		6	1	1	50	46%	3%
ホッケ	661	37,199	1,388	110	1,133	40,490	128%	79%
アンコウ	420	38	1,631	780	697	3,566	94%	87%
ウマヅラ		383	21		35	439	26%	18%
スルメイカ	1,208	393	4,508	1,940	7,226	15,275	11%	13%
タコ類	640	74	649	175	1,466	3,005	213%	119%
紅エビ(ホッコクアカエビ)	19	1,631			10,400	12,049	221%	138%
マダラ	1,222	3,056	756	183	4,150	9,366	125%	96%
その他	1,755	12,349	5,338	2,190	13,840	35,472		
計	7,712	68,704	20,018	6,722	42,793	145,950	66%	58%
前年比	129%	142%	64%	66%	34%	66%		
前年比	87%	89%	51%	47%	38%	58%		



## 定置網漁業

支所	加茂	由良	豊浦	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	9	20	18	47	107%	59%
ヒラメ	109	429	203	741	37%	43%
ウマヅラ	126	510	413	1,050	65%	60%
トビウオ	45	130	27	202	50%	10%
フグ類	3,688	1,511	2,457	7,655	553%	76%
ブリ類	5,799	19,234	18,778	43,811	167%	213%
アジ	1,110	2,407	633	4,150	50%	24%
サバ	165	1,402	398	1,965	50%	89%
その他	635	1,749	796	3,180		
計	11,677	27,372	23,704	62,753	129%	104%
前年比	130%	140%	117%	129%		
前年比	152%	114%	176%	104%		



## 採貝藻漁業

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠閣	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	71	79	36	20	75	37	46	152	516	154%	81%
アワビ	43	20	7	9	17	4	4	4	107	167%	75%
サザエ	292	2,566	88	350	1,175	299	338	1,478	6,586	337%	143%
イワガキ	2,238		2,217	167	1,593	241	326	1,940	8,721	113%	95%
ナマコ	160		251		28				438	626%	32%
モズク					176	266	124	45	611	124%	18%
その他	95				94			37	225		
計	2,828	2,586	2,563	526	3,081	809	792	3,502	16,688	161%	84%
前年比	89%	760%	81%	355%	170%	176%	164%	452%	161%		
前年比	59%	194%	64%	84%	85%	54%	67%	122%	84%		

※採貝藻漁業の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。

## その他の漁業

漁業種類	いか一本釣り漁業	さし網漁業					ごち網漁業	はえなわ漁業	一本釣り漁業	かご漁業
延べ操業隻数	27	246					34	200	116	90
総漁獲量(kg)		6,295					8,038	28,791	2,371	
前年比		118%					117%	231%	122%	
前年比		61%					69%	147%	83%	
対象魚種	スルメイカ	ヒラメ	キス	メバル類	ウマヅラハギ	サザエ	タイ類	タイ類	メバル類	浅海性バイ類
漁獲量(kg)	2,290	952	429	166	1,689	419	7,422	1,374	516	6,316
前年比	2%	326%	112%	34%	61%	2,328%	126%	91%	163%	130%
前年比	2%	248%	67%	36%	30%	108%	75%	24%	77%	120%

## 最上丸の調査予定(7月中旬～8月上旬)

- マガレイ等の稚魚調査を行います。
- 計量魚群探知機を使用したスルメイカ沿岸調査を行います。
- 沖合礁にて底びき網漁場状況を調査し、情報提供します。

みなさま、調査への御協力  
 よろしくお願ひします。

